
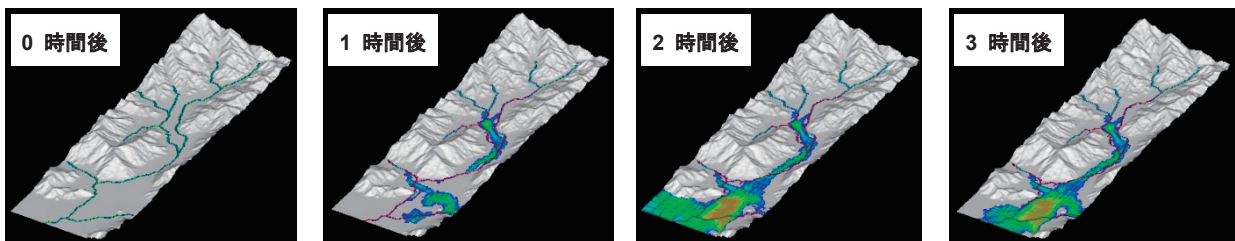


所属部門	安全・防災	
技術分野	水工学, 海岸工学	<b>専門分野</b> 土木工学, 水工学, 海岸工学
	田安 正茂 准教授 環境都市工学科 水工学研究室 tayasu@fukui-nct.ac.jp	<b>キーワード</b> 豪雨水害, 洪水氾濫, 波浪変形, 漂砂, 海岸地形変化
		<b>所属学協会・研究会</b> 土木学会, 日本流体力学会, 応用生態工学会

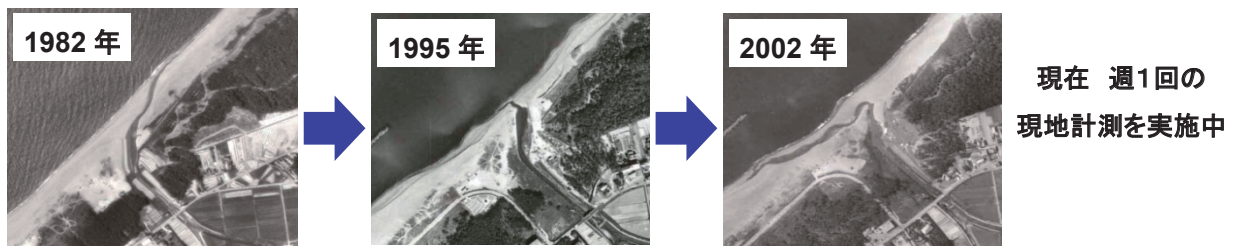
**研究テーマ**

**【河川の氾濫解析や海岸の波浪変形計算など, 流れや波の解析】**

- 豪雨時の堤防からの溢水や堤防決壊による河川水の氾濫流をシミュレーションし, 避難場所, 避難経路の安全性を検討しています。



- 砂浜海岸を横断する河川の流路を定期的に計測し, 波と流れによる砂移動のメカニズムを把握します。航空写真で比較すると



**主要設備・得意とする技術**

水理実験室に設置された開水路 (D0. 6m×H0. 4m×L9m), 管水路 (φ80, φ50ともにL4m) を管理しています。開水路は最大流量2. 4m<sup>3</sup>/min, 可変勾配で最大1/40まで可能であり, 魚道ブロックの模型実験や小水力発電水車の実験などを行うことができます。また, 造波実験室に設置された断面2次元造波水路 (D0. 6m×H0. 8m×L24m) では, 規則波, 不規則波, 孤立波を発生 (最大波高約20cm) させることが可能であり, 沿岸域の波浪場や津波場の模型実験などを行うことができます。

**産官学連携や地域貢献の実績と提案**

- ・ 洪水時の水位計測装置を有した護岸ブロックの技術開発
- ・ 砂浜海岸における砂の移動と地形変化の分析